

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	群馬県
取組市町村名 取組団体・企業名	高崎健康福祉大学（ぐんま食育応援企業）
取組の名称	親子わくわくクッキング
実施時期	令和8年6月6日（土）、6月20日（土）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☒ 1 みんなで楽しく 食べよう ☐ 2 朝ごはんを 食べよう ☐ 3 バランスよく 食べよう ☐ 4 太りすぎない やせすぎない ☒ 5 よくかんで 食べよう ☒ 6 手を洗おう ☐ 7 災害に そなえよう ☒ 8 食べ残しを なくそう ☒ 9 産物を 応援しよう ☐ 10 食・農の 体験しよう ☒ 11 和食文化を 伝えよう ☒ 12 食育を 推進しよう
取組内容	高崎健康福祉大学附属幼稚園の園児とその保護者を対象に、「親子わくわくクッキング」を開催しました。各実施日に16組の親子が参加し、終始にぎやかで和やかな雰囲気の中、食の楽しさを体感するひとときとなりました。 今回は「郷土の食文化」をテーマに、沖縄県の郷土料理である「タコライス」、歴食認定を受けた郷土地域の伝統食材「郷土くろこ」を使用した「くろこ揚げ」、そして生のキウイフルーツを加えた「フルーツポンチ」の3品を、親子で協力しながら調理しました。 包丁を使った食材のカットにも子どもたちが積極的に挑戦し、調理する楽しさを親子で共有する姿が多く見られました。また、タコライスには子どもが苦手としやすいニンジンやピーマンも使用しましたが、自分たちで作った料理ということもあり、「おいしい！」と笑顔で食べる様子が印象的でした。調理から食事までを親子で楽しむことで、「一緒に作って、一緒においしく食べる」喜びを実感できる機会となりました。保護者からは、「親子で協力して料理を作る楽しさを実感できた」「郷土料理や地域の食文化に触れるよい機会になった」といった感想が寄せられました。 本プログラムは、健康栄養学科の教員と学生ボランティアが運営しました。学生たちは調理のサポートや安全管理に努めながら、園児や

保護者との交流を深め、笑顔あふれる活動となりました。今後も、食を通して親子のふれあいを深めるとともに、地域の食文化への理解や食への関心を育む機会を継続的に提供していきます。

